

略

同廿九日大名外様御供衆申次公家五々番衆上様御被官 一御對面次第事 三職御相伴衆國持衆外様公家日野殿三條殿總
 番衆上様之御被官是は兩人 一御對面所へ御出座以前より御供衆申次衆每之さいのきはに
 伺公して御出座之時則御禮申上各退出也前々如注申と同前也扱當番之申次さいのきはへ參
 て面々と申入て退出候へば三職御相伴衆迄は一列に御對面所之内へ被參各見合て一度に御
 禮申て退出候也略中

同卅日長老達公家吉良殿石橋殿澀川殿大名外 一御身固有之在宣 一御ひとへ井御卷數所

上之進進 一美物進上三職御相伴衆國持衆迄毎年今日如此 一御扇一裏數 進上右京大夫殿毎

今日如此也 一染革三枚 進上同如今年今日 一鼻革十間 進上如今年今日 長老達三職御相伴

衆國持衆外様衆 番頭節朔衆走衆奉行衆吉良殿石橋殿澀川殿 吉石澀已後に仁木殿上杉殿

可參上但外様内へ可參歟公家と可書所を先明申也略下

〔年中定例記〕殿中從正月十二月迄御對面御祝已下之事

一廿日二月十日御對面暮の御禮 四條上人と申て上人まいられ候 一廿一日御對面七條上人と

申て上人御出候 一廿五日律家少々 一廿六日御對面御持僧殿上人 此外淨華院智恩院智恩

寺妙行寺賀茂輩檢校 一西衆梶井殿御持僧宮門跡はすみあ殿上人 御次但殿上人御座候は

ねば武家申次候 一御對面次第は賀茂輩以下次に檢校と申て申次手を引ていづる 一廿七

日御對面公家法中と申て各御參其後外郎と申て進上の御藥を備上覽て則外郎まかり出御目

にかゝる其後通師と申て御目にかゝる其後日吉と申て御障子をあけて於庭上御目にかゝる

さて田樂と申て田樂まかり出候 一西より攝家公家門跡法中少々攝家をば殿上人申次 一

廿九日御對面總番衆と申て罷出られ候上様御被官衆 一晦日御對面次第一番に傳奏御ひと